

石見神楽を活用したナイトタイムコンテンツ造成事業「全体概要」(1/5)

本事業の目的

- 地域の一番のキラークンテンツである石見神楽を中心に据え、新たなナイトタイムコンテンツ造成により滞在時間を延ばす実証実験を行い、訪日外国人旅行者の消費額増加を図る、条件不利地域における事業モデルの検証

1. 事業の概要

事業の様子		
事業主体	石見観光振興協議会	
構成団体	(株)JTBコミュニケーションデザイン、オリジナル(株)/Time out Tokyo	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 首都圏等の外国人旅行者・在住者をターゲットとし、伝統芸能『石見神楽』の人気演目『大蛇』の夜神楽を鑑賞・体験できるファミツアー(無料)を実施 ■ ナイトタイムを含む新コンテンツ造成 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 津和野の郷土料理体験+津和野の高校生との交流 ➢ 忍者ダンス(津和野盆踊り)体験 ➢ 薬膳豆腐づくり体験 ➢ 石見銀山世界遺産センターでの寸劇体験 	
実施エリア	■ 島根県浜田市、益田市、大田市、津和野町	
実査期間 (コンテンツ提供期間)	2018年12月17～12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 初回: 益田・津和野コース 12月17日～19日(2泊3日) ■ 2回目: 浜田・大田コース 12月20日～22日(2泊3日)

2. まとめ

実施結果・検証事項

- 石見神楽の夜間開催を核とし、飲食、モノづくり、複数泊を伴うコンテンツを整備することで、滞在中の満足度、夜間帯における消費額の増加を実現した。一方でツアーの行程内容を多く盛り込んだ結果、体力的・心理的負担を感じた旅行者が存在したことは、改善点として挙がる結果となった
 - 石見神楽鑑賞の満足度:「とても良かった」90%、「良かった」10%
 - 夜間*観光全体に対する満足度:「満足」40%、「やや満足」60%
 - 夜間*観光時の一人あたり消費額:6,500円/日
(FAMツアー参加者数:計10名)
*夜間:18:00~24:00

考察

- 訪日外国人旅行者のニーズが高いと想定される日本の伝統文化体験である石見神楽や、地元の方と交流ができるコンテンツを組み入れたツアーを開発することで満足度が高いコンテンツとなった
- 石見神楽に関しては、伝統芸能の中でもライブ感があることや地域の伝統を感じられる点が特に満足度が高かった
- 但し、田舎のゆっくりとした時間を体験したい旅行者も存在するため、余裕を持ったツアー内容とするなど、旅行者のニーズをいかに汲み取る事ができるのかが大きなポイントとなる
- ツアーに予めコンテンツ参加費用を組み込むことに加え、参加者個人の判断により自発的な消費を促す仕組みづくりが重要

3. 参考となるポイント

■ 地方(田舎)でのコンテンツ開発のあり方

- 訪日外国人旅行者のニーズが高いと想定されるコンテンツを組み入れた、複数泊を伴うツアーの開発が、滞在中の満足度が高く夜間帯における消費額増加に貢献
- 地元の方とのふれ合いやその土地ならではの暮らしを体験していただくことが満足度に貢献するため、訪日外国人旅行者が求める「地元ならではの」とは何かを突き詰めたコンテンツを開発することが必要
- 今後、ツアーの適正な価格設定と、価格に応じた適切なターゲティングとマーケティングが必要

石見神楽を活用したナイトタイムコンテンツ造成事業「実施内容」(2/5)

- 地域を巻き込んだコンテンツ開発においては、地元の市町村や地域団体との連携が非常に重要であり、ツアー時に訪日外国人旅行者が地域の方とのふれあい、コミュニケーションがとれるような対策も必要となる

4.実施内容の詳細及び考察

分類	#	タスク名称及び詳細	課題と対応方法	考察
準備	1	■ モニターツアー素材取材、撮影 ➢ 行程・パンフレット内容決定のための素材選定、取材、写真撮影	■ 訪日外国人旅行者向けのツアー行程のコンテンツ選定のため、外国人目線が必要であった ➢ 欧米豪のニーズを熟知したTime Out Tokyoスタッフによる事前の現地取材を実施し、訪日外国人旅行者にニーズの高いコンテンツを選定した	■ 地元の日本人スタッフだけでは外国人目線での魅力的なコンテンツの選定を行うことは困難なため、外国人のニーズを熟知した専門家の協力が重要 ■ 地元施設に精通している地元の行政や観光協会と連携することでスムーズな調整に繋がる
	2	■ モニターツアー内容の確定 ➢ 訪日外国人旅行者向けに、地域とふれあえる新コンテンツを開発	■ 訪日外国人旅行者にニーズの高い地元の方と交流できるコンテンツの開発が必要であった ➢ 地元行政及び地域住民に相談し、既存のコンテンツをベースに相談しながら、新規にナイトタイムコンテンツを開発	■ 既存コンテンツの応用が新規コンテンツ開発の短期化、低コスト化及びコンテンツ数の充実に寄与 ■ 地域のハブになっている組織と連携して調整を行うことが必要
実施	3	■ ツアー実施(2コース) ➢ 益田・津和野コースと浜田・大田コースのツアーを2泊3日で実施	■ 地域の方と参加者のコミュニケーションが円滑にできなかった ➢ 通訳スタッフがフォローし、各コンテンツ内容や地域の背景についての補足説明、緊張をほぐすための声かけ等、交流や会話を促進した	■ 地域の方が訪日外国人旅行者との交流に不慣れな場合、打ち解けられるような工夫が必要
報告会	4	■ 県民を巻き込んだシンポジウム ➢ ツアー報告を行い、ナイトタイムコンテンツの推進等を図る	■ シンポジウムの申込みペースが芳しくなかった ➢ ファムツアー協力店舗や当該市町の行政、観光協会に直接趣旨を説明し来場を促進した	■ 地域によってインバウンドへの取組に差があり、来場者の地域に偏りがあった。訪日外国人旅行者受入れに積極的でない地域においても魅力的なコンテンツが埋もれている可能性があり、地域との対話を続け、モチベーション向上に繋げる取組を継続することが必要

石見神楽を活用したナイトタイムコンテンツ造成事業「分析結果」(3/5)

- FAMツアー(計10名)による体験及びアンケートによる評価分析を実施
- アンケートの結果から、本事業にて実施した「スナックやキャバレー等のお酒を伴うナイトタイムコンテンツ」は、外国人旅行者の消費額の向上が見込まれる

5.分析結果

調査手法

- FAMツアーを実施後、参加者にアンケートを実施
- FAMツアーを実施後、受入れ施設にアンケートを実施

モニター数

- 参加者10名
- 受入れ施設18箇所

Q.どんなことを珍しい、面白いと思われましたか

アンケート回答(抜粋)

- 地元の人と話すのは東京にはない良い経験で、スナックもとても良い経験だった
- キャバレーはユニークだし、普段行かないような所がよい



Q.日本の田舎で体験してみたいことを教えてください

アンケート回答(抜粋)

- 現地ならではのナイトスポットに行って食事やお酒を飲みたい
- 地元の人に会って話せることがよい

地方部における夜間公共交通機関の利用意向

- 自由旅行の場合、どのような交通が整備されるとよいか
 - 各施設へのシャトルバス、路線バス、電車、バス、タクシー、レンタカー、アシスト付き自転車等を望む声が挙げられていた
- 深夜時間帯に上記の交通手段が必要と考えるか
 - ナイトスポットは駅の近くにあるため、歩いて行けるという意見の他、地方部においても夜間外出したい場合には交通手段が必要との声があった

- スナック・キャバレー等のお酒を伴うナイトタイムコンテンツに対する好意的な意見が多かった
- 特に、「都会では体験し難いキャバレー等のユニークな業態」や「都会のコミュニケーションとは異なる地元の人と交流しながら飲食ができる店舗」は、訪日外国人旅行者に訴求可能な高付加価値化コンテンツと想定される

石見神楽を活用したナイトタイムコンテンツ造成事業「検証結果」(4/5)

● 夜間観光時の消費額目標は両行程において達成したが、満足度をさらに上げる工夫が必要である

6.検証結果

#	検証項目	検証目的	結果	考察
1	複数店舗回遊、及び、夜間*観光全体における消費額増	本事業のナイトタイムにおける消費額増の効果を測定するため	<ul style="list-style-type: none"> ■ 達成: 益田・津和野コース(12/17-19実施) 1日目: 1人あたり合計6,500円 <内訳> 石見神楽500円、キャバレー4,000円、日本酒バー: 2,000円 2日目: 1人あたり合計7,000円 <内訳> 料理体験・面の絵付け体験5,000円、バー2,000円 ■ 達成: 浜田・大田コース(12/20-22実施) 1日目: 1人あたり合計8,200円 <内訳> 石見神楽500円、居酒屋2,300円、居酒屋2,600円、たち飲み1,600円、ラーメン1,200円 2日目: 1人あたり合計4,300円 <内訳> 銀すくい体験800円、丁銀づくり体験1,000円、レストラン2,500円 <p>※青字は金額が事前に確定。それ以外は参加者の判断により消費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ツアーに予めコンテンツ参加費用を組み込むことに加え、参加者個人の判断により自発的な消費を促す仕組みづくりが重要
2	石見神楽鑑賞、体験、及び、夜間観光全体に対する満足度: 満足度80%以上	商品の満足度を検証し、旅行商品の磨き上げを行うため	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石見神楽鑑賞の満足度 「とても良かった」 90% 「良かった」 10% ■ 達成: 夜間観光全体に対する満足度 「満足」 40% 「やや満足」 60% 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石見神楽に関しては、伝統芸能の中でもライブ感があることや地域で古くから承継されている伝統であるということを感じられる点が特に満足度が高かった。他方、モニターツアー以外の参加者の声は十分に汲み取れておらず、今後石見の観光資源を訪日外国人旅行者へ開放していく中で、SNS等での反応も汲み取っていくことを検討(現状はSNS等での訪日外国人旅行者のコメント数は多くない) ■ 夜間観光全体に関して、今回のFAMツアーでは、昼間にも様々な体験をしているため、夜間観光が長いという意見があった。コンテンツ開発の上で、夜間と日中の観光のバランスが取れるよう、工夫が必要である。併せて最適な動線設計についても検討

石見神楽を活用したナイトタイムコンテンツ造成事業「参考情報」(5/5)

- 地元の高中生との郷土料理体験や、地元民がよく訪れる店舗の回遊など、地域の方との交流や「地元ならではの」体験を豊富に織り込んだツアー設計とした

7.参考となる成果物



■ 石見版 Time Out TOKYO (抜粋)

8.実施時の様子



■ 益田・津和野コース(高校生との郷土料理体験)
地元高校のカリキュラムで行っている地域学習のプログラムを訪日外国人旅行者向けにアレンジ



■ 浜田・大田コース(立ち飲みバー)
地元の方がよく来て自然に交流できる店舗での回遊を実施